

## 意見聴取の意図

生物多様性に関する地域の実態や取組などを踏まえて戦略の見直しを行うことが重要であるので、現場に精通する関係団体への意見聴取を実施

## 意見聴取先の選定理由

地域バランスを考慮しながら、基本方針ごとに現場に精通した者を選出

## 意見聴取の結果

区分	団体名	地域	内容
基本方向1	(一社)静岡県猟友会	全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来種の定着が進んでいるので、徹底的な駆除が必要</li> <li>・ICT等の新技術を活用していくことが必要</li> </ul>
	桶ヶ谷沼管理運営委員会	西部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動団体の高齢化が課題</li> <li>・生物多様性の取組は関係各課、市町、県民が連携して取り組むべき</li> </ul>
基本方向2	静岡県立森林公園ビジターセンター指定管理者	西部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生息域を拡大している浜名湖周辺の外来生物対策が急務</li> <li>・生物多様性の取組は関係各課、市町、県民が連携して取り組むべき</li> </ul>
	静岡県野鳥愛護協会	全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山五合目に至るまでのアクセス道路の外来種の除去やマットを活用して五合目以上の登山道に外来植物を持ち込まないことが重要</li> <li>・子どもに自然を知ってもらうことが重要であるため、環境教育への協力は惜しまない。</li> </ul>
基本方向3	静岡県森林組合連合会	全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性保全にはニホンジカ対策が急務</li> <li>・森林認証林を拡大し、Jクレジット制度の活用を進めていく。</li> </ul>
	(公財)静岡県グリーンバンク	全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森づくり団体の高齢化が課題</li> <li>・県庁関係課と連絡を密にとり、既存事業の充実を図っていく。</li> </ul>
基本方向4	(一財)南アルプスみらい財団	中部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南アルプスの魅力を発信し、身近な存在となるよう取組を進めることが必要</li> <li>・南アルプスが持つ豊かな生物多様性の保全が重要</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天城山の自然を守り育てる会</li> <li>・中伊豆山葵組合</li> </ul>	伊豆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニホンジカの樹皮剥ぎによる枯損木が目立つ</li> <li>・わさびの葉の食害時には、苗を傷つけ、そこから病害も発生しており、対策が必要</li> <li>・わさび田への外来植物(材カジシヤ)の侵入があるが、外来生物に対する住民の認知度が低い</li> </ul>

## ふじのくに生物多様性地域戦略の構成

はじめに

### 第1章 生物多様性地域戦略とは

#### 生物多様性とは

- ①生物多様性とめぐみ
- ②歴史と固有性
- ③生物多様性に迫る危機

#### ふじのくに生物多様性地域戦略とは

- ①戦略策定のねらい（ねらい、方針）
- ②地域戦略に関連した近年の出来事
- ③地域戦略の位置付け
- ④地域戦略の対象地域
- ⑤地域戦略の期間

生物多様性に迫る危機を知る

### 第2章 生物多様性の現状と課題

生物多様性を育む県土（位置・歴史・人口、地形地質と県土の成り立ち、気象、土地利用）

#### 多種多様な生物

- ・県内の生物と調査・研究
- ・希少野生動植物
- ・外来生物・遺伝的攪乱・ペットの飼養
- ・野生鳥獣

#### 生物多様性と人のつながり

- ・人の営みと生物多様性
- ・文化と生物多様性
- ・生物多様性に関する環境教育

#### 本県を構成する生態系

- ・奥山
- ・里地里山・田園
- ・都市
- ・河川・湖沼・湿地
- ・海岸・海洋

#### 県内の特徴的な地域

- ・伊豆半島
- ・富士山
- ・南アルプス
- ・浜名湖
- ・今守りたい大切な自然（10箇所）

### 第3章 戦略の基本的な考え方

#### 基本理念

自然のしくみを基礎とする 真に豊かな社会をつくる

#### 目指す将来像

- ①社会全体の将来像
- ②生態系ごとの将来像（「奥山」「里地里山・田園」「都市」「河川・湖沼・湿地」「海岸・海洋」）

#### 基本的な視点

- ・人として生物多様性と共生するための9つの視点

#### 戦略の目標

生物多様性の大切さを理解し、力を合わせて生物多様性にめぐまれた理想郷“ふじのくに”に生きる

#### 基本方向

- ①多様な生物の個性とつながりを大切にする
- ②生物多様性を支える社会をつくる
- ③生態系を保全・再生・創出する
- ④特徴的な地域の環境を重点的に守る

生物多様性の将来について考える

### 第4章 行動計画

#### 多様な生物の個性とつながりを大切にする

- ①生物多様性に関する調査・研究の推進
- ②希少野生動植物の保護
- ③外来生物や遺伝的攪乱等の拡大防止
- ④野生鳥獣の保護・管理

#### 生物多様性を支える社会をつくる

- ⑤生物多様性に配慮した生活や事業活動の推進
- ⑥人と生物多様性が育む歴史・文化の継承
- ⑦生物多様性に関する環境教育の推進

#### 生態系を保全・再生・創出する

- ⑧豊かな自然環境が残る奥山の保全
- ⑨自然と人がともに生きる里地里山・田園づくり
- ⑩都市の自然再生・創出
- ⑪河川・湖沼・湿地の水辺のつながりの確保
- ⑫海岸から深海につながる生態系の保全

県民の取組事例／事業者の取組事例／協働による取組事例

### 第5章 地域別個別計画

#### 特徴的な地域の環境を重点的に守る

- ①伊豆半島
- ②富士山
- ③南アルプス
- ④浜名湖
- ⑤今守りたい大切な自然

### 第6章 推進体制・進行管理

各主体の役割及び連携・協働  
戦略の推進体制

戦略の進行管理と  
管理指標

戦略の普及・啓発

生物多様性を守るために取り組む

時点更新を行う部分

見直しを行う部分